

津麦ニュース 平成29年産 第1報

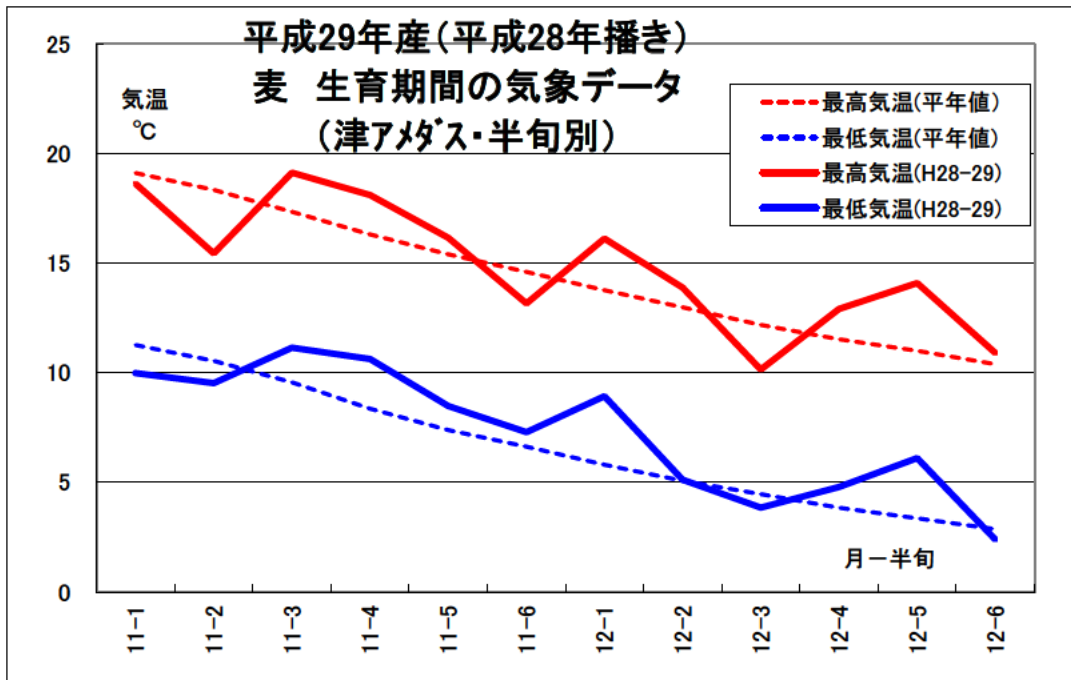
平成29年1月4日発行
津地域農業改良普及センター
電話:059-223-5103

麦の生育は順調に進んでいます
今後、積極的な追肥を行い、生育量を確保しましょう

<気象経過>

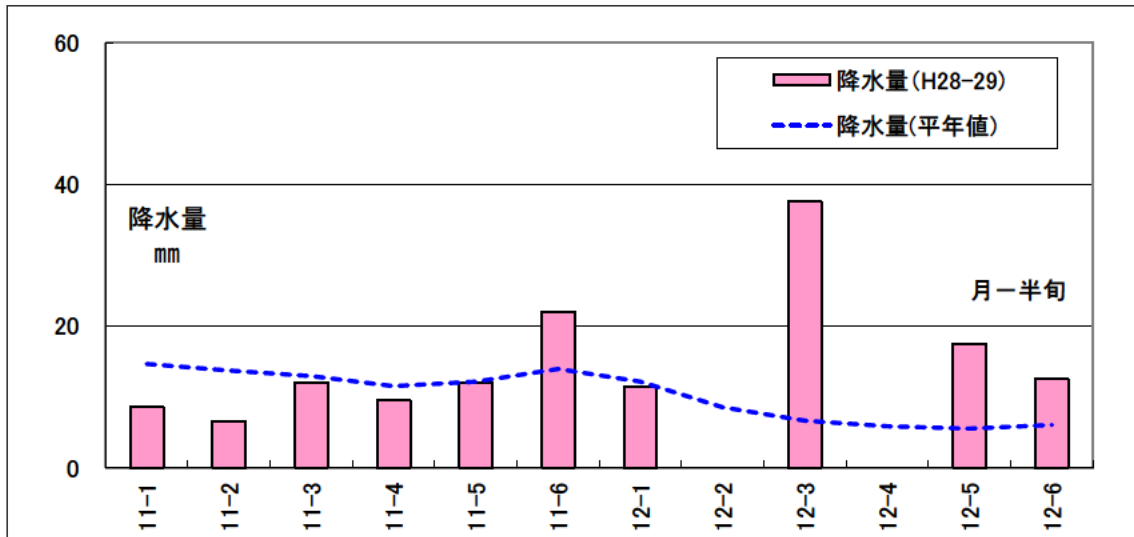
○気温

平均気温は、ほぼ平年並みで推移しています。



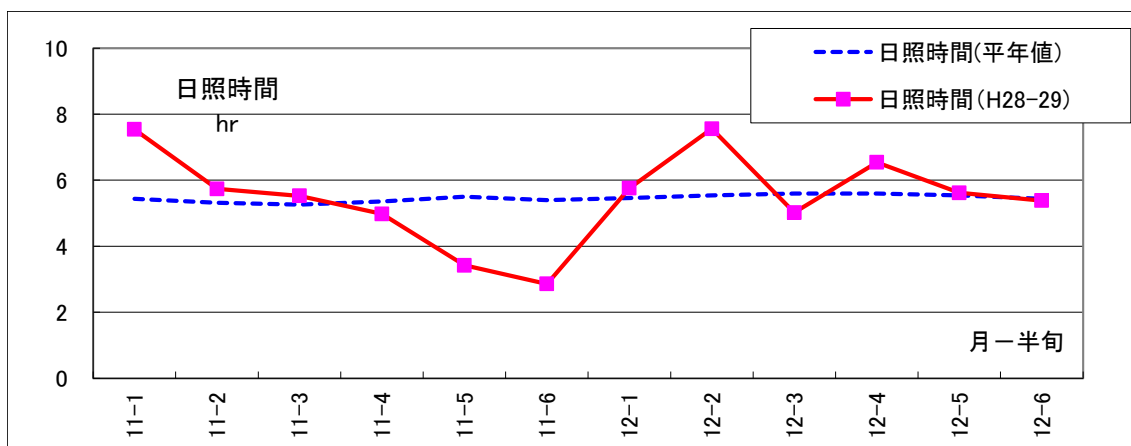
○降水量

11月から12月にかけては定期的に降雨がありました。特に、12月は一度の降水量が多い傾向にあり、12月の降水量は平年比178%となっています。



○日照時間

11月下旬は一時的に平年を下回りましたが、全体としてはほぼ平年並みで推移しています。



<麦の状況>

○ 播種作業

定期的な降雨の影響により、播種作業は遅れぎみとなりました。管内の播種作業は、12月中には概ね完了しました。

○ 生育状況

定期的な降雨がありましたが、出芽への影響はほとんどなく、順調に出芽したところが多くなっています。また、降雨の影響もあり、生育は平年よりやや早い傾向で、管内の11月上中旬に播種された小麦は、4葉期になっているところが多くなっています(早いところでは、5葉目が抽出し始めています)。

また、既に獣害被害も発生している地域もあります。

○ 病虫害発生状況

現在のところ、コムギ縮萎病等の病害や、虫害は観察されていません。

<今後の対策>

○ 追肥

つなぎ肥

11月上中旬播種の小麦の生育は、概ね4葉期となっています。この時期は穂数の確保に重要な時期で、「肥切れ」させないことが茎数確保に重要です。11以降、定期的な降雨があったことから、肥料が流亡している可能性もあるため、葉色がうすくなってきたほ場では、積極的につなぎ肥(窒素2kg/10a程度)を施用して下さい。

穂肥

6葉期を迎えたら、穂数確保のため、追肥(窒素2~3kg/10a)を行って下さい。

6葉期を迎える時期は、

11月上中旬の播種では1月下旬~2月上旬頃、

11月下旬以降の播種では2月中旬以降、と予想されます。

○ 麦踏み

麦踏みはほ場がよく乾いているときに、茎立ち期(2月中旬頃)までに実施して下さい。